明治四十三年八月十五日發行
毎月一回十五日發行
明治四十一年三月十二日第三種郵便物認可

婦人新報

大會號

百五十七
百五十八

日本基督教婦人矯風會

177

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十七、八號

目次

社告

○社説

△不健全なる社會の戰士　大隈伯爵

△矯風會の道　矢島楫子

○第十八回大會記事

○過去一年間に於ける矯風會の活動

△活動の狀況幷に方針　井深花子

△會務　横倉秀子

△會計報告　小崎千代子、宮永のぶ子

△婦人新報報告　横倉秀子

△青、少年部の通告　ガンドレット恒子

△万國婦人矯風會派出員の活動　守屋東子、ストラシト氏、デビス氏

○會頭の喜の祝に際して

○大會接待決算報告　山東泰子

○内外通信

大坂、堺、吳、奈良、筑前、若松

社告

◎婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）　金六錢

六部（前金）　金三十五錢

十二部（前金）　金七十錢

（郵券代用一割增）

◎廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十三年八月十四日印刷
明治四十三年八月十五日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ

發行所　東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地　婦人新報社

編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

No. 157.8　　　　August 1910

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Count Okuma's Address.

Mrs. Yajima, our President's address.

Minutes of the 18th National Convention.

Reports { Recording Sectry. Corresponding Sectry.
Treasurers. Y. L. T. L. Branches.
Misses Strout and Davis.
W. C. T. U. News.

Osaka, Kure, Sakai, Sôshû, Wakamatsu.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70 sen per Annum.　Single Copy 6 sen.

婦人新報第百五十七八號
（明治四十三年八月十五日發行）
（明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可）

○社告

婦人新報代未納の御方々へ差し出し置申候葉書の御返事至急給はり度切に御願ひ申上候也

現號即ち大會號は記事複叢の爲め内外通信部欄に御送附被下候各支部の報告書は次號に掲載仕候間御海容被下度候也

大會に於ける各課の報告は大會號に於ては紙數ゆるさず候まゝ次號に記載いたし候間御諒承を乞ふ

○大隈伯と矯風會

大隈伯并に伯令夫人には矯風會の主義を賛成せられて大會の席上に於て伯爵は名譽會員として令夫人は名譽終身會員として金百圓を寄附せられたり、當會の面目如何ばかりぞや、附記伯爵夫人は麴町支部所屬の會員とならせらる

社説

大隈伯演説（大略）

○社會の狀態は文明に反比例す

今日の社會の有様を見ると、全く文明と反比例をいたして居る、一方に富の增加すると共に、他方には非常な困難が起つて來る、この困難に伴ふて、奉公人が甚だ惡くなつて來た、ことに若い婦人は如何であるかと云ふと、職工となつて相應の賃金が取れると云ふ處から、眞面目な下女奉公など惡むて、剩さへ身を放浪に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

持ち崩して、段々と風儀が亂れて來た、それて此の惡風は日々傳播せられて、下層社會の道德などは少しもないやうになつて來た、これはいづこの國にもある弊害てあるが、此の危險を監督するものがなければ、社會の狀態がどの邊まて惡くなつて行くか分らぬ、然し殘念な事には日本には、此種類の監督者が實に乏しいどうしても何等かの方法を設けて風俗を害する哀れなものを救はなければならぬ。

○自國の同胞の救濟は他國の人の手を煩はさぬ樣すべし

今社會を見渡すと、中流以上の人々の爲めには、色々の團體が出來て居るが、下流の人々の爲めには甚だ少ないやうに思はれる、私共は餘裕があつたら、他人ことに監督をより多く要する人々の爲めに働かねばならぬ、それには先づ名々各自の獨立が必要てある、自ら獨立の精神を養つて、他人の爲めに働き、引いては國家社會の爲めに働くやうにいたしたい。

國民一般の爲めに働くものは、政事てある、偉大なる崇高なる、人類の爲めに働くものは宗教てある、政事は私の爲めてはなく、不幸なる人民を救濟するのが目的てある、さりとて政事宗教にのみ社會人類の救濟を一任する理には行かぬ、人類共同の生活が必要てある、即ち婦人矯風會青年會若しくは慈善的の會合の如き、一個人てなく多くの個人が集つてなす働を今日の社會が尤も要求するのてある、而してかゝる團體が數を增して勢力を造らねばならぬ、社會が複雜になればなる程、此種の會合も一つや二つては駄目てある、種々の會合がなければならぬ、如何なる人間にも惻隱の情があるのてある、大惡人ても子供が井に陷入つたのを見過しにして行きはせぬ、この惻隱の情が發達して善になるのて、此の情を以て不幸なる悲慘なる境遇にあるものを救ふのは人間の義務てあると思ふ、每日の新聞ても不幸なる境遇の爲めに、罪惡を犯して悲慘なる生活をなすものが多い事が分る、此の上社會が複雜になつて來たら如何なる悲慘な事が起るやも計りがた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い、畢竟するに人間は境遇によりて習慣によりて惡をなすのである、また社會に出りて罪を犯すのである、然れば其人を惡むより社會を惡むのが當然である、

○惡人は精神病者

醫者の研究によると、惡人の心理的狀態は實に病的であると云ふ事である社會が人間を病的に導びく事もある、經理人類學者の云ふ處によると、社會の狀態によりて、急激なる異狀を精神に與へる而してあれがまた甚だしい傳染性を持つて居ると云ふとてある、支那の國などが此の病氣に罹つて、未だに全快いたさないのてある、韓國も同じまた印度も同じてある、支那人が殘した倫理道德は千載に至る今日も變らない、グリーキのプラトーと孔子の倫理觀は暗に符合して居ると云ふのてある、東洋は人類の道德の祖先てあるにも不係、病氣にかゝつた爲めに、野蠻てあつた、歐洲の文明に壓倒せられてしまつた、支那人は道德を利用して商賣道具とした、日本は之を實行した爲めに幸に今日の文明をいたした。

○克己心は安全瓣

狂氣の人ほど恐ろしいものはない、然し人間は先天的に善をなし、惡を止める即ち克己心を持つて居るものてあるとカントも申した、孔子もプラトーも申した中庸即ちこの克己心は、無限の慾望を制する安全瓣てある、此の慾望が進み進んて殺人犯をもなすのてある、人間社會が文明を要すると同時に前述の如く、文明には色々の罪惡が伴ふて來る、然し野蠻に戻らんか、たゞ安全を貪らんか、人類の性に悖つた事てあるから、どうしても此病的現象を各方面から防ぐやうにして發達して行かねばならぬ、

貧民勞働と云ふ事は今日世界の問題になつて居る、社會の不完全からとんでもない無政府黨などが起つて來る、されば矯風會の樣な社會の爲めに働かれる會がある事は、實に感謝の至りてある、斯樣な會が一つあると、之れに善導せられて、いくつも斯樣な會が興つて

來る、私は高齢なる矢島會頭が、この社會の尤も要求する事業の爲めに日々勤めらるゝ事を見まして、崇高の念禁じがたいのである、諸姉よ自愛せられて人類のために働いて頂きたい、(文責在記者)

○矢島會頭御演說の大略

大會もだんだんと回を重ねまして、十八回となりました、十八回と申ますと、十八年目でございますから矯風會も隨分成長いたして參りました、私は今年お話たしますのがやはり十八回でございまして皆様の前でお話致ませんてした事は一度もございません、今まで私は長いお話をする事が出來ませんてした、と申しますのは私に妙な習慣がございましたからてす、扨一年三百六十五日も短かい事てはありません少ない事でもありません、それに今日は早この處に立つ樣になりました、昨年の大會も昨日の樣に思はれますが早今日となつたのてございます。

私の今日の問題は矯風會の道ときめて頂き度う存じます此一年の間に種々進歩した事もありますが、人々の目にはさ程明かに之はと見えては居りません、出來得るならばもう少し顯はに致し度いと存じて居ります此矯風會では支部に於きましても本部におきましても日が輝いて居る樣に盛んでありますが然も會員諸姉は一生懸命に働いて居られます私は昨年の十月十一月には近在を歩きまして男女學校へ參り二三日の間に三千ばかりの人にお話する事が出來ました集の場所へ參りますと都合よく話をする事が出來ました然し一時間餘りも主義を異にする人が話をするなどゝは到底不可能の事でありますにも拘らず斯樣に致す事の出來ましたのは全く敎育者とか政治家などが矯風會と云ふものに注意をする樣に成たからであります、又世の中に光がある樣になつたからでもありませう、昨年から今年にかけていろ〳〵思ひもよらぬ場處に參りました、殊にストラウト姉の働などは著しいもので、矯風會などとは一つも知らぬ處へ參られまして、其の都度に歡迎を受られました、然し悉く其等の人を會員にしたと申す譯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てもございません、近在の宇都宮に參りました時には師範學校中學校商業學校女學校など僅か三日間に十ケ處も話をして廻りました、然し不思議な事には、其邊の新聞紙は其に就て何をも書きません、餘り不思議てすから私が存して居ります信者の新聞記者に其譯を伺ひ、且つ何とか善否を書いて下さる樣に頼みました處が、其方の申さる丶には、此邊の新聞紙は斯る新しい變つた事は書かぬとの事てす、私は驚きました、新聞と云ふものは新らしい變つた事を記すのが目的であるのに此東京より汽車て四時間しかか丶らぬ處てすのに、こんなをもしろい事を云ふかと實に驚きました、其れより續いて交際してる人もありますが、畢竟り彼等は舊慣を固守して居りますから、進歩致しません、次には道といふ事をお話しますと、私は田舍者でして、私には田舍の事が頭にしみて、今もなほ殘つて居ります殊に道路を良くすると云ふ事が一番記憶されて居ります、即ち橋を造つたり道路を修繕致しますのは、地方官の務てありました、人が終日働きましても此渡るべき橋がなかつたならば、もう働が出來ぬといふ有樣てすから斯る事を助けてやると云ふ事が少さい時から、心に銘じたのでございます、昔は醫者がありませんでした故に天然痘に罹りますともう死ぬるものと考て居りました處が私が丁度十八才の頃、長崎の方より種痘の種を持つて參りまして、私は其先頭者てありました、一番先に犧牲となつて、うゑました、然しつきませんでした、其より十、二十、三十、と數が增し今ては誰もかれも行ふ樣になりました、私は十年後二十年後にもうゑましたが、つきませんとした處が先日學校てうゑました時は、良くつきまして幸ひ危險を免る丶事が出來ました、父が支配して居りました人が數萬人ありましたが、凡て其等に醫者を一人誂へて種痘をさせましたから、人々は其人を神樣の如く尊びました、昔の醫者と云ふものは、本を一冊もちて政府の試驗を受けて醫者となるのです、然し天然痘だけは醫者も駄目と定めて居りました、江戸にまて行けば凡て良い方法があると云ふ事て江戸て書生を養成して

段々明治の御代と成りました。私が四拾の年でございました世の中が變れば變るもので、まあ其一を擧ぐれば美はしい菜種の油をとり行燈を造りまして夜仕事をして居りました、然し暗くて今の暗いランプの方が未だ良い位ですから、視力を非常に費して仕事をして居りました、私が丁度二十一才の時にランプと云ふものを見まして其より瓦斯電氣と進歩して來たのでございます。
其光其道の大切な處に矯風會が出來まして、リビットさんが日本に持つて來られました大變な光其酒の害ある事の道を知らせて下さいました、斯る程に東京より地方へ、支部が出來ると云ふ有様と成りました、私はアメリカの一人の老婦人が、其死に到るまで矯風會の書記をつとめ其責任を全うして終られた話を聞きまして私ども、如何かして神様から駄目であると命の下るまでは命がある限りは働き度いものと存じます、故に私どもは自分は蔭で働くからと云ふ様な理窟のもとに辭する事をせず出來る丈やると云ふ勢を以て働き度いと存じます、日本は物質的には隨分進歩して居りますが、精神的には未だく足りませんから、何とか方針を定めて政府に對してゞも、何でも根氣强う働きます時には、矯風會の者はさすがにと云ふ樣になるだらうと存じますから之て止しませう、只私の考を告白したばかりてございます。

○第拾八回日本基督教婦人矯風會大會記錄

明治四十三年十月十二日午前九時を以て第十八回日本基督教婦人矯風會大會は芝區三田功運町普連土女學校講堂に於て例により祈禱會を以て開かれたり白紐の永遠に長からん事を希つゝ數名の姉妹は熱禱を捧げられたり
午前十時一同着席と共に矯風會獨得の合圖の木槌を以て開會は報ぜられ會頭の聖書朗讀につぎて各支部長の點呼本部記錄書記報告あり四十六番の動議に三十五番の賛成ありて可決せらる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大會執行委員長以下撰定の報告あり、こは會頭の指名によるものなればとて之を認むるの可否を問はれ滿堂異議なきを表す即ち左の如し

大會執行委員長　小崎千代子
代員說明會調査委員　横倉　秀子　林　粲子　大貫　赤子
會計檢査委員　渡邊　常子　野口せい子
特別會計　小崎千代子
會場書記　武安　鈴子　竹中　繁子
音樂係　鈴木　元子　中村　冬子
接待係　高島、山東、富永、增山、武安、鈴木元、佐藤、鈴木諸姉　麹町芝赤坂各支部より二名宛
裝飾係幷に雜用　青年部諸姉
新入會員募集委員　中澤　東子　夏目つぎ子
婦人新報講讀者募集委員　粟屋榮子　平岩すゑ子
書籍係　林　粲子　增山すが子
給仕　鈴木すゞ子　高木ふて子

各委員着席後三百〇一番の讚美に次て會頭矯風の道てふ主意にて長時間の演說あり終て本會副會頭の發議により一同起立して之に同意を表す時に十一時、時間に餘裕ありとて横倉姉よりプログラムに二三の變更ある可き旨を報せられ後に規則修正に殘餘の時を用ひん事の提議あり五番の動議に二三の賛成ありて規則修正に移る

規則中準會 員正會 員の權限に不明の箇所あるを以て之を明かにせん爲諸姉の意見を述べられたしとの井深姉の發議に四十六番は之を信者未信者の別を明かにする必要ありとて動議せられ大關姉質問の後賛成あり十時姉また質問せられ三十五番の賛成あり三番は其理由の說明を求められ井深姉の說明あり三番は猶ほ推して辯明を求められたり曰く矯風は他の會と異つて門戸を開きて未信者を多く入らしめん事を望むに未信者と信者との懸隔を立てん事は如何あるべきか弊害なき以上は其まゝになし置かれんにはと之に對して十時姉は同し主意を以て渡邊氏に同意せらる

井深姉は猶ほ例を擧げて說明を與へられストラウト氏も各地旅行の結果未信者のみの爲め同樣の困難を感せられし事往々ありしにより常置委員會席上にて此議に賛同せりと述べらる

三番は規則中に人數を定めて支部設置の許可を與へ置かれんは如何と述べられ其答辯中四十六番は最初贊成の動議を出されし理由を自己の經驗より述べて説明を加へらる

本多姉は豫想的に困難のある處を述べられて原案に贊成せらる

議長は問題複雜に渉る議案なればとて委員附托説を提出せらる

三十五番は準正の名は懸隔甚しければ正、普通の名稱を與へん事を發議せられ議長は普通の二字を否認せらる

十四番、正準は字音穩かならざれは單に「信者たらざれば役員たるを得ず」と記されたしと

五番は大阪の經驗に徵し名稱には正準の字を與へず單に導く人の心覺えとすべし要は委員附托に贊成すと述べらる

廿四番の贊成ありて可決せられ議長は本部役員及各支部代員主任者を委員として指名せらる

五番は其集會の時日に就て質問あり即ち議長は十二日午後の集會後の時を撰ばる

模範規則第四條第一節中金三錢を削除する事

を横倉姉より提議せられ「毎月會費として若干を納むべし」と變更せんとの事に五番及十三番の贊成ありて可決せらる

義務金十錢を十五錢とする事

の宿題議案は井深姉より提出せられ議長其理由を附加せらる

前橋支部及城戸順子姉より祝電來る

四百四十一番の讃美渡邊姉の祈禱主の祈をもつて十二時開會

十二日午后二時一同着席二百八拾一番の讃美及會頭の祈禱に續いて

代員證明書朗讀

本部通信書記報告

三番の動議に三十五番の贊成ありて可決す

本部會計報告

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に三十五番の動議三十八番の賛成ありて可決
青年部報告はガントレット姉缺席につき副部長竹中繁子之に代る異議なし十三番の動議に賛成あり
少年部長守屋姉の報告に三十五番の動議三十八番の賛成あり可決
萬國本部派出員報告は岡戸姉ミス、ストラウトに代り邦語を以て報告せられ議長は此報告に對して困難の中をストラウト氏が働かれし功を多とし一同を起立せしめて謝意を表したり
ストラウト姉は此度萬國聯合大會に於て賞旗は日本青年矯風會の手に落ちたる由ハーグレーヴ姉より書翰ありたりと述べらる
ミス、デビスは來朝日淺き今日流暢なる日本語を以て其働きの幾分を語られ滿堂拍手を以て之を受納れたり
婦人新報々告は四十二番の動議に三十五番の賛成あり可決
讃美二百三十四番を唱し終りし時三十五番はミス、デビスの報告の猶ほ剩れる處ある由を注意せられ岡戸姉代りて邦文を以て報告せらる三番は重ねてストラウト姉と同樣滿腔の感謝を以て之を受入れんとの動議に一同起立謝意を表す
ミス、ルイス、ミス、エリスを客員として代員の席に就かしむる事の議は小崎姉より出て四十八番の賛成ありたり
明朝八時半課長部長の懇談會を開く事を豫告せられ隨意出席を許さる
本多姉の祈禱を以て閉會す
十二日午后七時栗屋姉の司會にて支部代員歡迎會は開かれたり
讃美三百二十二番と聖書朗讀井深姉の祈禱に次て司會者は今年の歡迎會に就て聊か其主意を述べられ本多姉の歡迎の辭に大坂支部長林姉の懇篤なる答辭あり
青年部代員の合唱終りて茶菓の饗應ありおの〱胸襟を披いて打ちくつろぎ相語らひたり懇談中青年部員は様々に歡迎會を賑はせられたり
凉風肌に和らかくして五月雨の晴れ間緑愈新らしく

蟲の音まだ趣深き此宵名さへ親しきフレンドの講堂に主の御名の下に集められし勇姉の集ひ又なく勇ましかくて十八回大會の第一日は優渥なる祝福の中に樂しく終りぬ

十三日午前九時より豫定の如く課長部長懇談會は粟屋姉の司會の下に開かれ各事の經驗質問など衝て起り大いに益せられたる處ありし如し十時一同着席讃美第五十三番に次て議長の聖書朗讀名出姉の祈禱を以て開會す

前日の記錄朗讀に三十五番の動議四十六番の賛成ありて可決

井深姉は規則修正案に就て昨日委員會を開きし結果を報告せらる左の如し

一準正會員の區別に就ては「役員キリスト教會所屬の會員に限る若し所屬教會の會員なき時は其最近の教會より補助を與ふるものとす」

二ミス、ストウツトの發議に係る信者の一人もなき地方に支部を設く事に就ては「本會と目的を全ふする婦人十名以上の會員を有する時は本會常置員會の承認を經て支部を新設する事を得」

と、此らの規則修正案を緊急問題として會上にて議決し會後直ちに之を採用せん事の提議あり四十六番の動議に三十五番の賛成ありて可決す

役員撰擧に先だち出席會員の點呼を行ふ出席人員五十五名他に若松代員として横倉姉之に代る

議長は井深小崎兩姉を撰擧係に林姉を撰擧議長に指名せらる

一番は改選の必要なければ各役員に留任を願はんにはとの提議に井深姉は其は議事法に反すればとて否認せらる

林氏議長に代り登壇

横倉姉は書記に代り選擧法に就き説明す

選擧の結果矢島姉五十三票を得られ四十六番は書記全會を代表して一票を投せん事の提議に一番の贊成あり

書記は仍て一票を投し滿堂矢島姉を會頭に迎へたり

本多姉を副會頭に推す事に就て書記に一票を投ぜしめん事を提議せられて四十六番の動議に三十二番の贊成あり

記錄書記に井深姉を前同樣の方法により推選せんとの

動議賛成ありともそは選擧法に抵觸する者なりとの説に副會頭より更に投票選擧する事となり本多姉五十一票を得て一番は書記に一票を更と投ぜられん事の動議に四十二番の賛成ありて同姉副會頭に再選せらる

井深姉五十三票を得て一番の動議に四十六番の賛成あり書記一票を投して同姉を記錄書記に推選す

一番の動議に三十八番の賛成ありて横倉姉に書記一票を投し大多数を以て同姉を通信書記に推選す

三十八番の動議に四十七番の賛成あり滿堂小崎姉を會計に迎ふ

此時ペドレー氏は議長に賛否共に問ふ可き旨注意せらる

新任役員登壇着席會員一同敬意を表す

會頭矢島楫子副會頭本多貞子會計小崎千代子記錄書記井深花子通信書記横倉秀子

青年部員の讃美歌合唱あり

矢島新任會頭議長席に復し支部代員紹介を行ふ

閉會後本部役員の協議會ある旨豫告あり．

四百四十五番の讃美に主の祈を以て正午閉會

十三日午後二時讃美二百四十六番前橋代員野口姉の祈禱を以て開會時事問題委員報告

昨年より宿題議案となるべし

一不健全なる讀物を家庭に入らしめざる事

二新橋より神戸間に禁煙車を連結せしむる事を鐵道廳に陳情する事

此中第一は着々實行されつゝあり第二は陳情書を差出したれど未だ實行に至ずと今年度の時事問題は

一電車内の廣告取締を夫々の會社に交渉して輿論を惹起する事

二禁煙車を新橋馬關間に附せしむる事

三「パック」及「東京」なる雜誌の取締を其筋に請願する事

三十五番の動議に三十三番の賛成ありて可決

有給書記會計報告富永姉は三十三番の動議に十二番の賛成あり可決

フレンド女學校青年部員の合唱ありて後各課報告に移

る
議長は三課づゝ纏めて採決せん事を注意せらる

法律課々長代理　横倉姉(代)
教育課長　渡邉姉
母之會課長　栗屋姉

右三課の採決に際し三十三番の動議あり呉十時姉は同市母々會課報告は有形的ならざれども些かならず此主意に基き知名の士を招き講話を請ひ大坂にても報告に追加する處あり堺市は課長不なれにて報告書を差出さゞりしも母之會は活動し居る由を述べられ大關姉は重ねて賛成の動議をなし他の賛成を得て可決す

軍人課長　淸水姉
仝　副課長　宮永姉
交際課長　淺井姉(代理)
傳道課長　渡邊しげ子姉代理成澤姉

右三課の採決を求めらる大阪支部の質問あり三十四番の動議に二十五番の賛成あり可決

動物優待課々長代理　十時姉(代)
風俗課　名出姉
禁煙課長　根本姉

右三課の採決を求められ三番の動議に五番の賛成あり可決

文書課々長代理　岡戸姉(代)
衛生課々長　大關姉
工女課々長代理　山本姉(代)

十三番の動議三十五番の賛成あり右三課の報告を可決す

救濟課長代理　横倉姉(代)
無酵課長代理　淸水澄子姉(代)

横倉氏記憶に止められし課長の働きを附加せらる

議事法研究課　ストラウト姉

大阪及神戸支部よりの救濟課報告は課長の手許まで送られしに其報告なかりし理由を問はれしに横倉姉は答へて課長缺席の爲報告不完全なれば再び課長に交渉するまで暫くの猶豫を與へられん事をと仍て報告濟の分を他の二課と共に受納る可きや否やに就て三四の討議あり議事法に觸れざる限りは大阪神戸の報告を除きて代を受納る可き旨動議賛成あり可決せらる

懸賞文學課長　鈴木元子姉
花の課

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

課長風間氏の住所に行違ありし爲報告未着の分あるよし横倉姉より注意あり

安息日課長　山本泰子姉

五番の動議に十三番の賛成ありて右三課の報告を可決す

各課の報告終りて横倉姉は前橋代員の請求により二十分の時を貸さん事を提議せられたれとペドレー姉は到底二十分にては事足らずとて拒まれ午後五時十五分主の祈を以て閉會す

昨日以來宿題となりし義務金十五錢説は否定せられたるよし本部會計より報告ありたり

十三日午後七時豫定の如く青年部文學會は竹中姉司會の下に開かれたり是に先だち賞與授與式を擧行せられたり役員及ミストラウト登壇着席小崎弘道氏祈禱についでまづ名譽の月桂冠は大阪市に歸し賞金亦大阪に歸す教育課の働き著明なりしとてウヰラート孃の額面は渡邊姉に懸賞文學課に金五圓鈴木姉に夫れ〳〵拍手を以て賞讃の中に授與せられたり文學會にては日頃の敎練空しからずおのが〳〵樂に裡に演説に其技を振はれ殊に第二部の餘興にては滑稽の數々日頃の眞面目な顔に似もせで見る人をして抱腹せしめたること一夜の樂みに止まらず開會中折にふれての語り種となりしを見ても知らるべし九時半閉會

十四日午前九時課長懇談會は例により開かれたり十時と共に竹中青年部副部長司例會席に就き遙に申越されしガンドレット部長の青年諸姉に對する希望と名古屋市の青年部復活を喜ぶ旨とを傳へ來る可き年の聖句として「なんぢ人にせられんと思ふ事はまた人にも其如くせよ」を撰ばれたる由をも傳へたり各部より携へ來られし働きの樣、活動の樣は以て國家將來の有爲なる婦人を期すべく頼母しく覺えたり。

部長の欠席は此上なき遺憾ながら今回の大會に於て陰に陽に力を盡して會を助け賑はしたる或は音樂に會場の整理に東奔西走して本部員に滿足を與へたる等は大いに喜ぶ可き現象なりき

部長は祝電を以て我らを奬勵せられたり

報告中に各支部の一ヶ月會費平等ならざるを發見して渡邊姉は五錢を定額とせん事を發議せられしも結局各學校の事情により適宜の方法をとる事となれり
部長は過去二三年間萬國青年部より補助を受け多大の益を得たる事故今回は何か日本の青年部より萬國青年部資金の中に幾分か寄附せん事の動議あり各宿題として九月早々其報告をせらる可き樣定めたり各支部報告中言語矯正會の設けある支部ありと聞く青年婦人然かも當代の婦人の最も注意すべき處にして實行の怠り易き事なるを此處に心附かれたるこそ喜ばしき極なれ各支部擧つてまづ自己を反省すると共に支部一般に此主義を敷衍せられん事を望む
會は午前十一時四十五分恩寵の中に閉ぢぬ
玆にデビウス孃は約さるゝところ各青年部奬勵の爲に三種の賞與を設け支部にして毎月新報上に忠實に最もよき報告をなしたるものに金五圓禁酒談の佳作を飜釋に對して五圓禁酒の教訓ある繪畫を書きしものに五圓とを與へらるゝ由

十四日午後二時矢島會頭司會の下に追悼會は開かれたり奏樂祈禱に次て前日の記録は三十五番の動議に林姉の賛成ありて是認せらる
青年部合唱本多夫人の聖書朗讀ありて後會頭は亡せに友の俤を偲ばんとて追悼の辭を述べられ中村かつ子姉の略歴に小崎姉の多羅尾、岡本姉の概歴は渡邊姉によりて述べらる
南波あや子の詩聖ロングフエローの「雨の日」てふ獨唱に次て林姉は故田口姉の爲め、折よく臨席せられたる根本正氏は故串田姉の爲め追悼の辭を述べられさらても打しめりたる此集ひに親しき友を亡はれし老會頭の想を推はかりては何れも首をさへ得上げざりき
午後四時彼處此處より集ひ來りし少年禁酒軍の愛らしき行動に沈める心は引立てられて俄かに元氣附けられたり懸賞演説に歌に對話におの〳〵其技を闘はし殊に藤田敦君は成績優等にて賞牌を受けられたるなど日日鹿爪らしき大人の會合に疲れたる人々も大いに勞を癒されたる如く見受けられたり少年禁酒軍の賞旗は大阪

ウヰルミナの手に落ちたり大阪の爲萬歳を久留島先生は今夕旅行の途に就かるゝ時間をも惜み玉はずして可憐なる兒童の會を賑はし教へ勵まし玉ひたり殊に嬉しかりしは少年軍の徽章を佩びて旅行地に向ひ機會を得て北陸地方の人々に少年禁酒軍を紹介せん事を約し玉ひたれば一同拍手起立を以て之を迎へたり我黨の先生の御旅行に祝福を祈る心切なり

兒童は撮影の後六時半散會したり部長守屋姉の御成功を玆に祝す

十四日夜八時食堂に於て懇親會を開く各々胸襟を開いて打語らい所信を述べ自己を紹介し樂しき一夜は時の間に過ぎて十時に垂んとする頃讃美祈禱により感謝の中に散會しぬ

小崎氏は本部を代表して此度の會の爲にあらゆる便宜を與へられし校長以下凡ての方々に對して謝辭を述べられ支部代員を代表して渡邊姉謝意を表せられ高畠姉之に答へらる

十五日、夜來の雨晴れやらで今朝は軒端に點滴の音さへ聞えぬ然れど勇める胸躍れる胸は物ともせて打つれて大隈伯邸に向ふ

會員參集をまちて讃美二百四十六番と祈禱とを以て開會す

會計檢査委員長渡邊姉の報告あり次て

新任課長の披露あり

各課長は變更なし唯文書課長は水野きく子姉に改められたり

遺傳課長大關氏辭退せられたれど後繼者を推選して然る後辭職せられたしとの事に猶ほ一年繼續せらるゝ事となれり

右報告は林姉の動議に萬代姉の賛成ありて可決せらる

渡邊姉の動議に粟屋姉の賛成ありて會場 最終の書記報告は可決せらる伯は恰も臨席せられ玆に一場の演說を試みられ一同は起立を以て敬禮を表す折よく伯邸に貴夫人方の精 病 者の爲に企てられし會合の開かれたれば手を連ねて親睦せん事を快諾したり併せて臨席せられし英國婦人ホワイト氏を紹介せられたり

委員長小崎姉來年度の大會は京都より招待あり宜しく盛んに來年の爲備ふ可き旨述べられたり猶ほ今年は恰も會頭喜の祝に相當すればとて金一百圓を呈する旨を述べられ靑年部の一人をして捧呈せしめたるに會頭は起ちて當伯の邸にて老年として祝を受くるは恥かしき事なりせめて百三四十の齡までも生きてある可き筈なればと言ひ給ひ會集は拍手を以て會頭の壽を祝したり

午後會頭は新たに平和課を置かん事を發議せられ林姉の動議に守屋姉の賛成あり小崎姉は矢崎會頭を課長に推さん事を動議せられ賛成ありて可決せらる

此處平和協會頭大隈伯邸の會合　席上に生れし平和課のいよ〳〵育ちてます〳〵健全ならん事を期待する事切なり

時に粟屋姉は最も喜ぶべき報を携へて入り來りぬ、大隈伯夫人は親から此會に賛同して今日此時を以て矯風會員たらん事を約せられ當座の寄附として金一百圓を與へらる伯もまた男子なれば會員たるを得ざれども此會の賛成員として矢崎會頭を扶助し何れの折にか此會を助けられん事を約せらる

第十八回日本基督敎會 大會は特筆大書すべき記錄を遺して此日を以て閉ぢられたり伯及伯夫人を中心に會員一同撮影して四日の會合は散會しぬ國の東西南北より集ひ來し會員の親しみの加はりてまた來ん會を約して袂を別つなど實に美しき樣の極みなれ

明治四十三年七月　會場書記　武安鈴
竹中繁

○大會出席本部常置員幷に代員姓名

矢島楫子　本多貞子　小崎千代子　井深花子　横倉秀子
ミス、デビスミス、ストラト、富永廷子　根本德子　大關和子
粟屋癸子　淸水富貴子　山本泰子　竹中繁子　守屋東子
鈴木元子　名出昱子　ミススペンサー渡邊常子
大坂　林歌子　名出昱子　大塚常子　淸水逹子
緒方吉重子
神戸　渡邊常子　黒田いせ子　藤本六滿子
宇都宮　渡邊かつ子　吳　一時菊子　堺　萬代要子
前橋　ミセス、ペドレー、野口せい子　相州　淸水富貴子

井口夫人
京　都　桑田つき子　難波勇子　鹿兒島　關屋夫人
横　濱　二宮わか子　石川ゆき子　中村とよ子
外國婦人　ミス、スペンサー　コス、バンファインド　ミス、アスペン、ミス、ルイス、ミス、エリス
麹　町　中澤東子　岸田つる子　内海きん子　須藤八重子
芝　根本德子　渡邊爲子　赤　坂　舟橋波子
麻　布　小林登代子　山　梨　成瀬けい子　風間姉
菅村きく子　神戸女學院ヲ　河原くに子　女子聖學院ヲ　中村冬子
安藤政子　小石川ヲ　南波あや子　古橡梅子　守屋東子
東洋英和女學校ヲ水野きく子　大貫幸子　手塚てる代子夏月つぎ子
フレンド女學校ヲ　竹武鈴子　增山すが子　佐藤隆子
合計六十四名　前會員代　横倉秀子

部課長姓名

青年部長　ガンドレット恒子　副部長　竹中繁子
少年部長　守屋東子　法律課々長　矢島楫子
軍人課々長　淸水富貴子　富永のぶ子　母之會課長
栗屋　桑子
交際課々長　淺井たい子　教育課々長　渡邊常子
傳道課々長　渡邊重子　風俗課々長　名出昱子
禁煙課々長　根本德子　文書課々長　水野きく子
衛生遺傳課々長　大關和子　工女課々長　白井すゞめ子
救濟課々長　島田信子　無酵課々長　福田紀子
花の課々長　風間政子　安息日課々長　山東泰子
懸賞文學課々長　渡邊元子　動物優待課長
武田淑子　議事法研究課々長　ミス、ストラウト

○一年間に於ける矯風會の活動

△日本婦人矯風會記録書記四十二年度報告

井深花子

一本年度に於ける常置員會例會開催の度數十回臨時會三回

一議決並に協議問題の主なるものは左の如し

一大阪支部の遊廓移轉運動に對しては直接間接出來得べきの方法を以て之を補くると

一同地醜業者の隱然運動中なりし娼妓營業許可年齡滿十八才を十六才に變更せんとする件に付當矯風會は之を未萌に防がん爲には大阪支部と協力し適當

の方法を以て運動せんことを決す
其第一着として市内の有力家を訪問し又演說會を開き輿論を喚起せんことを勤むることとす

一日英博覽會へ會旗を送り且つ賣品としては繪はがきを出品すること

一矯風會の主旨を傳播せんが爲め市内各區の敎會に於て每月演說會を開くこと本年度に於ける順序は

一月　番町敎會　　二月　青山敎會
三月　下谷美以敎會　　四月　靈南坂敎會
五月　高輪敎會　　六月　四ッ谷敎會
九月　深川クリスチャン敎會　　十月　數寄屋橋敎會
十一月　牛込敎會

開催敎會へ瓦斯代並に小使の手當として壹圓九十錢を維持費の中より支辨すること但し支部の設立ある區にては支部之を負擔することとす

一大會
會場　東京芝區三田功運町フレンド女學校
期日　四十三年七月十二日より十五日まで
接待費募集の方法並に金額
委員選定其他大會開催準備に關し協議す

一名古屋大共進會開會中ストラウト氏橫倉書記同道名古屋支部の矯風事業に協力せられんことを贊同す

一前橋支部の大活動の精神に感じ同地共進會開會中は出來得る丈の便宜を與へ此擧を助けんことに滿場一致を以て可決す

一慈愛館經常費に當る爲め演藝會を開くことに付島田慈愛館會計より交渉あり爲に議を凝すこと數回に及しも此演藝會は矯風會の主義に悖る處あるを以て中止し大隈伯の庭園を借用し園遊會を開くことに決す

一本會の事業發展の爲め内外聯合演說會を開く件に付協議す

一當矯風會に關係淺からざりし故潮田千勢子夫人の手にて創設せられし工女の爲め夜學校は過去八年の良好なる成績の歷史を有するに關らず維持困難の故を以て或は閉校の已なきに至らんかとの噂ありしを以て工女課の事業として引受けんか一擧兩得の策ならんと協議度を重ね主任白井氏と交渉の結果左の條件を以て引受ることとし右特別會計として小崎千代子夫人を擧ぐ條件左の如し

一婦人矯風會は特別會計を設け贊助員寄附金の募集等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をなして事業の經營に當る事
一 大會に提出す可き議案數ヶ條に付協議す
一 東京愛憐社は主任者を白井俊一として事業の一切を託する事
一 事業報告は（婦人新報）を以てする事
一 大會に提出す可き議案數ヶ條に付協議す

〇明治四十二年度　本部通信書記報告

橫倉秀子

過ぎ行く雲の影あざやかに印して歲月は流水の如く永遠のタイムにと去り行きぬ、壯快なりし去年の記憶の未だ新たなるに、早やくも一年を送つて玆に再び會友諸姉と見え、一年間活動の樣を報ずる事の如何に感謝多き事なるよ

靜かなる消夏の夢は、俄然大阪市に於ける未曾有の大火災によつて破られたり、家財を失ひて路途に哭する罹災民救助の聲は矯風會員より起れり然れども緊急なる動議は大阪市に於ける矯風會員社會改良者より叫けばれたり、即ち北新地移轉問題なり、本部では早急書を各支部に飛ばして該運動費を募集したり、同情に富める各支部の諸姉直ちに同意せられて應分の寄附金をなして、直接奮鬪に當れる諸姉を奬勵し助けられたり、至誠のある處には勝利あり、熱心なる祈禱と奮鬪とは遂に意外の好果を得るに至れり、三百年來の歷史を有する北新地遊廓は、遂に消滅するに至りたり、會頭は炎熱燬くが如き大阪市に出張して此運動に力を添へたり、斯くして幾億萬の財寶を失ひし大阪市は之によつて人道に大なる光明を與へられたり、天の配濟の妙なるたゞ感謝に堪えざる所なり、涼風既に秋を告ぐるの好時期を利用して、會頭は書記を從ひて宇都宮市に遊說す、市內各公官私立男女の學校は、皆我が主義の爲めに爾來かたく〳〵鎖ざゝりし門戶を開放し

て歡迎せられたり、講演せし數二十餘回學校數十餘、聽衆實に四千有餘人なりき、各官公立學校が此の種の如き講演を開きしは我會を以て嚆矢となすと云へり、スㇳラウト氏は關西にデビス氏は奥羽に遊說して、支部を新設し、はた基礎を固められたり、十一月に至り千葉縣下の有志者の招待を受て會頭書記は同縣下東金町に於て、數回の講演をなす、折しも印度總督キチネル元帥には國賓として來朝せらる、矯風會は禁酒會と提携して元帥を新橋ステーションに迎へ後ち歡迎の書面を呈したり、間もなく娼妓年齡變更につき大に警視廳並に有志間に運動する所ありたり、其間靑年會館に於て主義擴張の目的を以て大演說會を開催したり、年くる〻の時例年の通り二千有餘ハ記名捺印ある甲乙兩種の請願書は島田、根本兩代議士の手によりて貴衆兩院に提出せられたり、議會通過の夢は將來幾年の後に於て實現せらる〻や知る所にあらざれども、年毎に社會の注意を深く引くに至りしは我等の喜ぶ所なり、年新になりて我等は慈愛館事業の發展幷に本部事業の擴張を期して、四月中旬大園遊會を開催して好結果を得たり、米國觀光團員中の矯風會々員を横濱に歡迎せし事もあり、五月に入り矢島會頭幷に書記は相摸灘に疲を慰す偶々開成中學校に於て講演して大に同校職員生徒を覺醒する所ありたり、ス氏、守屋姉また九州に關西に遊說して支部を新設せられたり

玆に特筆すべきは、慈愛館幷に大阪婦人ホームの事業か政府の認むる所となりて金二百金三百金の奬勵金を受けし事なり、また數年間白井工女課長の事業なりし愛憐社は七月を以て矯風會の引き受くる所となり、本部常置員は將來の發展を大に期して運動せんと覺悟し居れり、其他動物優待の件につき內務省に注意し、靑森火災に義捐の金品を募集して之を郵送する等本部に於て過去一年間に係はりたる事業の大略は前述の如しいてや現在活動せる支部の數幷に狀況の大略を述べて感謝を捧けむ

現在支部數　六十五ヶ所、
內婦人部四十六ヶ所、靑年部十九個所

新設支部　豊浦、宮崎
復活　彦根
脱會　藤岡
消滅　一ノ關、室蘭、岩見澤、
現在會員數　三千餘
義務金納付會員數　二千五百餘
大會へ報告書を送られし數二十八個
婦人部廿五　青年三
最大多數の會員を有する支部
大阪三百五十人、第二神戸二百六十人
最小數會員支部　七人　麻布支部

〇大阪支部

一年間に於ける尤も重なる運動は火災救濟並に遊廓移轉問題として會頭はそれが爲め再三再四上京す婦人ホーム財政の爲め運動して在來の負擔を輕くせり教育課の働としては種々教育方の日日の力を賦與す

〇神戸支部

救濟事業教育事業に特に力を致すことに救濟事業の爲めに慈善市を開き多大の純益を得て貧民を救助し訪問し且つ拾什組會の貸布團等を造りて貧民の急に應ず

〇弘前支部

青森火災救助に會員一同大に盡力したり

〇呉支部

醜業婦救濟事業に着手し將來有望の運動と認めらる

〇奈良支部

母の會の爲め一同大に盡力し度く演說會講話會を開きて婦人の智識開發に盡力せり

〇京都支部

花の課の事業は特に力をいたし貧者病者に慰安を與へ神の道に入りしものも不尠

〇筑前若松

矯風會事業の運動を盛んになさん目的を以て慈善市を開く運動費を得將來益々奮勵せんとす

〇靜岡

母之會、救濟事業に盡力せり他は特筆すべきものなきを以て別紙表中に詳細を記せり

〇個人としての働

通信數　九百六十餘通（内外）
會員訪問度數　三十七回
旅行　五回
外國貴賓歡迎　三回
會を代表して慈善會婦人團體の集會に出席せし數　五十九回
新聞雜誌に寄稿せし事　八回
講演せし數　三十六回
詳細は表に示す（次號）

○自四十二年七月至四十三年六月本部會計報告

小崎千代子

收入ノ部

一金五百八拾六圓參拾貳錢也

內譯

一、前年度ヨリ越金	三一五、五一
一、本年度義務金	二六八、八一
一、特別寄附	二、〇〇

支出ノ部

一金參百五拾四圓九十六錢也

內譯

一、婦人新報補助	一〇〇、〇〇
一、本部書記手宛補助	一一三、六六
一、米國本部義務金	五一、〇二
一、會頭并書記用通信費	三二、四〇
一、演說會補助	四、六〇
一、交際費	三、四四
一、郵稅	二、四八
一、青森火災ノ爲郵稅	一、二七
一、會頭名古屋出張費	六、三〇
一、七課補助	三九、七九

內譯

一、無酵課	五、〇〇	一、少年部	五、〇〇
一、母の課	五、〇〇	一、文書課	五、〇〇
一、教育課	五、〇〇	一、工女課	一〇、〇〇
一、法律課	四、七九		

差引殘金

一金貳百參拾壹圓參拾六錢也

○四十二年度本部義務金一覽表

收入の部

佐賀	二、一〇	與	五、〇〇
福島若松	九〇	橫濱	六、一〇
小石川青年	三、〇〇	麻布鳥居坂	六、九〇
前橋	二、〇〇	門司	二、三〇
宇都宮	二、四〇	長崎	二、二〇
赤坂	二、五〇	堺	四、四〇
山梨青年	五、五〇	神戸青年	四、二〇
富岡	一、五〇	山口	二、二〇
山梨	五、〇〇	弘前	六、〇〇
原市	三、〇〇	女子聖學院	一、四〇
小樽岡田保茂子	一〇	靜岡	四、六〇
旭川	二、三〇	信州小諸	一、四〇
安中	一、七〇	名古屋金城青年	一、一〇
麹町	七、六〇	名古屋	三、〇〇
フレンド青年	三、〇〇	芝	四、一〇
信州屋代	五〇	松山女學校青年	三、一〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

在日本西洋婦人	一二、六〇〇
函館遺愛青年	五、五〇〇
神戸	二六、八〇〇
廣島	三、〇〇〇
大坂	三五、〇〇〇
高崎	一、五〇〇
下關	二、二〇〇
筑前若松	二、八〇〇
岡山	四、四〇〇
仙臺	二、〇〇〇
福岡女學校	四、一〇〇
東京聯合	二、一〇〇
麻布	一、〇〇〇
鹿兒島	三、九〇〇
弘前青年	六、二〇〇
熊本	一、八〇〇
相州	四、二〇〇
京都	三、三〇〇
盛岡	一、八〇〇
金澤英和女學校	一、八〇〇

特別寄附金

大阪	一〇、〇〇〇
山梨ヨリ事務所ノ爲	五、〇〇〇
大隈綾子	一〇〇、〇〇〇

○四十三年大會々費決算報告

收入ノ部

一金九拾五圓貳拾九錢也

內譯

一、越金　七、八三、五

一、本年會費　八七、四五、五

支出ノ部

一金參拾四圓貳拾九錢也

內譯

一、報告用半紙	二、〇〇〇
一、謄寫板用アルコール	三〇〇
一、狀袋二百枚	二〇〇
一、大會案內用切手	三、〇〇〇
一、葉書五十枚	七〇〇
一、早稻田行準備費	六〇〇
一、懇親會案內狀	一、〇〇〇
一、白リボン一インチ	一、〇〇〇
一、報告用印刷物	二、六〇〇
一、順序書三百枚	二、四〇〇
一、懇親會招待用切手	二、〇〇〇
一、仝狀袋	二〇〇
一、準備費	四八
一、大隈家へ挨拶	一三、五〇〇
一、大會寫眞代	一、九五
一、役員用車代	一、三六
一、大會用電燈料	一、〇〇

差引殘金　六八、八三、五

○四十三年七月大會々費一覽

收入の部

小樽岡田保茂子	五
旭川	一、一五
前橋	一、〇〇
麴町	七、六〇
宇都宮	一、二、
山梨青年	二、五、
呉	二、五〇
横濱	二、〇〇
麻布鳥居坂青年	四、八五
門司	一、一五
長崎	一、一〇
堺	二、二〇
神戸女學院青年	、一〇
函館遺愛女學校	二、七五
フレンド青年	二、五〇
神戸	一三、四〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山口	一、一〇〇
弘前	三、〇〇〇
女子聖學院	七〇
築前若松	一、〇〇四
岡山	二、二〇〇
名古屋	一、五〇〇
仙臺	一、〇〇〇
芝	四、〇〇〇
赤坂	二、五〇〇
佐賀	一、一〇〇
福岡女學校	二、〇〇五
北京聯合	七〇
麻布	五〇
甲州	[illegible]、二〇
京都	二、七五
盛岡	七五
大坂	一七、五〇
熊本	八五
金澤	九〇
富岡	八五
信州小諸	五〇

（表は次號に）

○自四十二年七月至四十三年六月本部書記手當決算報告

富永のぶ子

収入ノ部

一金貳百九拾貳圓六拾八錢也

内譯

操越高	四五、六三〇
靜岡支部より	一三、〇〇〇
神戸支部より	四一、一四〇
大阪支部より	七二、〇〇〇
盛岡支部より	二、四〇〇
東京 麴町支部	一八、〇〇〇
東京 赤阪支部	六、〇〇〇
東京 芝支部	三、七〇〇
東京 東洋英和女學校	二、六五〇
フレンド	五、五〇〇
神戸聖學院	一、二〇〇
前橋支部	二、〇〇〇
宇都宮支部	四八〇
吳支部	六、〇〇〇
横濱支部	六、〇〇〇
山梨支部	二、〇〇〇
原市支部	一、〇〇〇
高崎支部	一、八〇〇
神戸女學院	五、四〇〇
旭川支部	五、〇〇〇
山口支部	一、七八〇

支出ノ部

一金貳百拾參圓九拾五錢五厘

内譯

横倉書記へ支給　自四十二年七月 至四十三年六月	貳壹貳、四四〇
雜費（郵税爲替料等）	壹、五一五

備考　自分ノ手許ヨリ横倉書記へ毎月貳拾五圓宛渡ス規定ナリシガ兎角毎月集金不足勝ナルユヘ不足ノ分ハ小崎會計ヨリ補充セリ

差引參拾八圓七拾貳錢五厘　現金預リ（次年度へ繰越）

右之通リ候也

明治四十三年六月盡日　富永延

右大會ノ席ニ提出スル爲メ作成シタル后、堺市婚風會

支部ヨリ五圓貳拾三錢東洋英和女學校ヨリ金六圓七十錢入金アリタリ故ニ差引累計五拾二圓五錢五厘次年度ハ繰越

以上追加

○謹告

私は財務委員の一人で御座いまして、特に有給書記の爲めに、主任會計をいたして居りますが、毎年大會の席上にて、各支部代表者の御方に、毎月御送金の事を願ふて居ります次第で御座います、支部の方々も色々と、御都合も御座いますと見えまして、地方支部では、或る二三ヶ所を除く外は、毎月御送金なく、夫れが爲め本部會計の補助を御願いいたさるも毎々で御座います、專任書記は會の機關力と思ひます、會の發展を計るには、書記へ既定の運動費をさし上度いと思ひます、何とぞ各支部の方々には、其邊御賢察被下まして、毎月御送附の事を切に御願ひ申上ます、

○明治四十二年婦人新報報告(四十二年七月ヨリ四十三年六月マデ)

發行部數　千四百部
賣捌部數　千百餘部
進呈部數　二百五十部
　各支部長、各長と婦人團體其他新聞雜誌所
殘部　控、紹介の目的並注文に應ずる爲め

總收入金六百四十七圓六錢

内割

一金百圓　本部より補助
一金百圓　園遊會より寄附
一金三十六圓　廣告料
一金四十錢　山口支部寄附
一金一圓五十二錢　吳支部寄附
一金二圓　本部常置員並外國婦人矯風會役員總會寄附
一金十圓　長崎寄附
一金四圓　ガンドレット氏寄附
一金四百二圓十四錢　雜誌賣上高

總支出金六百八十二圓九十一錢

内割

一金四百三十九圓五十二錢　(四十二年七月ヨリ四十三年六月迄但シ一ヶ月休刊)印刷代
一金百二十圓　編輯手當
一金八十一圓十五錢　郵送代
一金六圓　包紙糸糊
一金六圓五十錢　通信費
一金三圓五十錢　集金人
一金三圓　雜費(車代等)
一金二十三圓廿四錢　前年度不足差引

差引不足金三十四圓五錢

貸金百五十圓餘

之れは雜誌代未納分の豫算として去月督促狀を出したれば今半期に於て不足を補ひて餘裕あるならんと思ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四十二年度青年部報告

部長ガンドレット恒子

	會の名稱	設立年月	現在會員數	新入會員數	收入支出金	例會度數	特別集會	婦人新報講讀者數	課の名稱	配布せし書籍數
北海道	函館遺愛女學校青年	明治卅一年項	五十五	三	七圓五十錢 九十二錢	四	二	八	花ノ課	
東京	東洋英和女學校青年	三十三年十月	九十七	六十二	二十四圓廿八錢 六圓二十八錢	三	三	十	花ノ課風俗課少年課懸賞文學課幼兒課	五萬二千部
同	ワレンド女學校青年	三十六年	三十七	八	二十四圓六十四錢 十五圓七十五錢	七	五	三	少年課花ノ課懸賞文學課安息日課	
岡	瀧ノ川女子聖學院青年	四十二年六月	十六	十六	六圓〇九錢 四圓八十五錢五厘	八	一	十二	花ノ課安息日學校課教育課	
名古屋	金城女學校パリシュ青年	三十一年五月	十一		一圓十錢 一圓十錢	二				
金澤	北陸女學校ウエスト青年	二十九年	四十六	二十七	＼				花（音樂 新藤）	
山梨	山梨英和女學校青年	三十三年三月	五十五	二十	五圓五十錢 五圓五十錢	十二	一	四		
福岡	福岡英和女學校青年	四十二年九月	四十	十一	六圓 六圓	四				
松山	私立松山女學校青年	四十一年	二十	十三	二圓六十四錢	六	一			
宮崎	宮崎青年	四十三年二月	四十四		一圓四十八錢 四十八錢	十二	二		花、風俗、禁酒、安息日	
神戸	神戸女學院ウヰラード青年	二十九年	四十二	六	二十一圓廿四錢 二十一圓〇三錢	六	一			
弘前	弘前女學校青年	三十七年一月	六十一	二十七	二圓四十六錢 三錢	二	一	一		
郡山	同情館青年	四十一年五月廿八日	三十一	十四		一		一		

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

京部	同志社青年		三十二	二	五十錢				花ノ隊	千四百
仙臺	女子青年自助館		未着							
東京	小石川青年		三十	九		五			動物優待、花	
横濱	英和女學校青年		未着							
同	聖經女學校青年		未着							
總	十九		六一四	二〇九	九十八圓九十八錢 六十二圓七十八錢五厘	七十二	十七	卅九		五萬三千四百

以上十九の青年婦人矯風會の内粹の四會此報告書〆切までに報告書の到着せざりし者なり、

○四拾二年度青年部々長個人の報告

講演　矯風會にて十四回
　　　母の會にて六回
　　　婦人會にて二回
　　　公會にて二回

配布せし書類數　二百九十部

通信　發信六拾五通　受信五拾三通

成年部會計報告

收入金九拾貳圓三拾錢五厘也

内譯　五拾六圓三十錢五厘　前年度繰越
　　　六圓　議事法賣上げ
　　　三十圓　米國より寄附

支出金四拾圓七拾貳錢五厘

内譯　三拾貳圓四十二錢　運動費旅費
　　　三圓參拾五錢五厘　郵税
　　　貳圓九拾五錢　印刷費
　　　貳圓　筆紙料外雜

差引殘金五拾壹圓五拾八錢也

四十二年度少年部報告

守屋東子

四十二年度に於ける少年部長としての個人の働きの大略を述べん

○本年度の初めより兼て計畫なしつゝありし少年禁酒軍の教師會を毎月最後の土曜日にデビス姉方に於て開

くるに決し毎月實行す教授法及、學術的に禁酒につきて教ふ事を研究し實例を多く提拱して實地應用の實を擧げんと欲す、幸に常に十數名の教師來集して有益なる集會を持つことを得、

○十一月第三日曜日を萬國婦人矯風會の例にならひ矯風日曜日として決せられんことを全國の三百の日曜學校に向つて勸め共時に用ふ可きものとして順序書及禁酒の歌等を印刷して郵送す、

○十一月廿三日東京市中の日曜學校生徒大會を青山學院にて開催さるゝ事に決するや禁酒軍よりも禁酒の話をなす兒童三名を出して演說せしめまた行軍をもなさしめたり多數兒童の集會を機として小妹も小時間を得て禁酒の話をなす來會兒童數千數百名なりき、禁酒軍に加入したるものもありき、

○四十三年一月左の事項を計畫して婦人新報紙上に記載しまた各禁酒軍に通牒を出す、

一、朝食前を祈の時と定む、

二、標語　恒に勵めコリント前書一五―五八

三、優勝旗を作る事、成績優良の軍へ（寄附金を募集して新調する事）

四、賞金　甲、乙二種　成績優良の軍へ

以上の四ヶ條を定めしに第一第二は勿論實行するをすゝむされど優勝旗も作製する事を得感謝する次第なり

○三月五日東京市中の共勵會の大會に於て禁酒の話をなしたる結果新らしく軍を作るに至りぬ、

○旅行四十二年十一月テピス姉と共に東北地方へ旅行して千有餘人の軍人と數個の禁酒軍とを新設することを得たり、

今明治四十三年五月關西地方へ旅行して各支部を訪ひ數百の禁酒軍人と禁酒軍とを得また矯風會の新設をも見る事を得たり、

仝六月テ姉と仝行して茨城縣下に旅行し、禁酒軍人及軍の新設を見るに至れり、

訪問したる市名、盛岡、仙臺、鹽釜、一ノ關、水澤、石岡、水戸京都、彥根、神戶、堺、吳なりき、

今玆に諸姉につけて最も小妹の働をなして充分ならしめらる、テピス姉に感謝せんとするものは常に旅行をなすに多大の費用を用するにあたりテピス姉は學校等に教へて得たる報酬を擧けて小妹の働きの爲に使用さるゝ事なり如何に思ふともなくてかなはぬ費用をかくして充分に與へらるゝ深く感謝すと共に小妹に只に自身の不肖を悲しみ悔ゆるものなり、

○本年度に於て

受けし手紙數	百八十七
出したるもの	二百六十四
電報、受けしもの	五通
同　出したるもの	六通
印刷物	三千五百枚
話しをなせし事	百三回

○少年禁酒軍の數　四十壹

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新設されしもの　二十八ヶ處
廢したるもの　三ヶ處
數は猶多かる可し報告なき爲知れざるものも多し

○軍人數は　四千五百人餘

小妹は常に幼なき兄弟の熱心なるまた切實なる入軍希望の書簡に接して勵まされ數へらるゝものなり實に小妹は斯かる未來の我矯風會員になる可き少女また矯風主義を援助すへき男子となるへき少年の禁酒軍人の諸國の日曜學校内に出てんことを願ふものなり只幼なくして熱心なるも指導者の必要なる彼等に對し吾矯風會員の諸姉進んで其任にあたられんことを願ふ旅行して常に同情と御熱心とを以て小妹を勵まさるゝ諸姉に感謝します／＼大御手によりすかり此事業の盛大を期せんと欲す、大略をしるして報告をなす、

○四十二年度少年部會計報告

收入部

一五圓也　本部より
參拾圓也　テビス姉より旅行の爲に寄附
拾圓也　メタル代として仝氏より寄附
七圓參拾貳錢　リボン代として仝氏より寄附
八圓貳十參錢　本部懇親會の利益金より寄附
十七圓五十九錢　優勝旗の爲に寄附
壹圓　吉川氏より寄附
〆七十九圓拾四錢也

支出之部

五圓　日曜學校同盟へ
參圓　汽車代（生徒を引卒したるもの）
九圓參拾貳錢　リボン及ピン代
參圓五十五錢　車代
參拾圓也　旅費
貳圓五十三錢　雜費
八圓也　徽章代
十五圓也　エハカキ六百枚印刷費
貳拾圓也　優勝旗代
八十五錢　プログラム代
五圓　謝禮
五圓也　賃金
〆百七圓貳拾五錢也

差引不足高貳拾八圓拾壹錢也

備考（優勝旗新調に際し卅餘名の同情ある諸姉によりて寄附されし金子金拾八圓九錢也なりき勝旗の實價は約卅圓程なりしかば到底新調なし得ざるの感ありし時に際し番町小年禁酒軍人籾山ぎん子御親父籾山東洲氏の御同情により不足額は全部御寄附にあつかり初めて計畫されし旗も見事に出來せるものなり玆に記に記して籾山氏并に厚き御厚情を給はりし諸姉に感謝す）

四十二年度少年禁酒軍報告

軍名	所在地	課長氏名	大尉氏名	隊員現數	今日までに誓約せしもの數	旗の色	設けある課の名	月何回開催さるゝや	獻金額	特別某會の催しあるや	赤色リボンの佩用如何	隊の組織されし時及其人名	家庭及社會に及ぼせし感化
喜音	東京深川富岡門前		森川靜雄	七六	一二一	桃		一回	ナシ	二月一日	セリ		
麻布	麻布英和女學校内	大貫幸	布目秀子	四一	四一	赤	動物	一回	三八〇	なし	セリ		伯父ヲ禁酒セシメタリ金ヲ寄メリ
一ノ關	岩手縣一ノ關クリスチャン教會内	高橋よね	瀧三郎	一〇五	一五八	未定	動物	一回		一回	セリ	三十八年高橋よね	
弘前	弘前市中丸ケ町グリフィス方	ミスエムピーグリフヒス	工藤良八	六〇名	二四二	赤	動物	一回		毎年二月十一日大會	多方佩用	廿六年ミスグリフヒス	家庭内に少なからぬ感化力あるをみとむ
鮫橋	四谷鮫橋	[illegible]姉		三五	六〇	紫		一回		アリ			
番町	中六番町十番地番町教會内	守屋東	戸田早苗	四二	一〇五	赤	花ノ課動物課	一回	一二六	花課働として郊外にさい集	セリ		父を感動せしめし事禁酒の必要を父兄に知せたる事酒店ヲ閉店セシメタリ
高輪	芝區高輪教會内	山田きり子		四〇	一二〇	桃	動物	一回	九三	ナシ	セリ		
偕[illegible]	京橋築地新榮町	マコーレー	津田正夫	六〇	一八一	赤	ナシ	四、五		年一回	セリ	卅九年十二月マコーレー	
ウオルミナ	大阪ウオルミナ女學校内	西野貞	伊藤勝	一〇〇	二五七	白地ニ赤		四	一八〇	三度遊戯ニユク一度客招ク	セリ		數度あり新來を三ケ處に設立す
博愛	大阪博愛社内	大獄使雄	山内頂一	六〇	六〇			一回					
神戸	神戸女學院内		高木正一	一三	一五	赤	ナシ	三月に一回		一回	セリ		
北野	神戸北野孤兒院内			一三	一五	紅		一學きに一度			アリ		
[illegible]關		上野サマ		一〇〇	一八五			一回				四十三年十一月	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

仙台派													
水澤													
ブラフトセラ	仙台南七軒町			一八	五〇			二月ヶに一回		親睦若くは禁酒會			友人間に非常なる信用を有すこと 電信局の給仕
呉	呉婦人矯風會				九〇	別に軍としての設備は未だ非ず、せんと希望す							
堺	堺婦人矯風會					支出 四圓七十二錢 收入 壹圓參拾錢							
麻布宮村	宮村町	安中花子		一一	一一	赤色		一回	一三錢		セリ	四十三年二月 長谷川くめ	
金子		金子しげ		一五	一五			一	ナシ		セリ		
安藤		安藤ひで	長谷川昇三	一八	一八	赤	ナシ	一	三五錢	ナシ		四十三年二月	
美似	下谷新谷町			五五	五五						セリ	四十三年二月	
フレンド		戶祭こと		八三	八三						セリ		
汎愛	大阪汎愛扶植會	深井ダイ	西尾庄太郎	六三	七二	白地に赤		三回			セズ	四十二年六月	
西教會	大阪西教會內	淺尾キヵノ	松本敬太郎	五〇	七〇	白地に赤		二回	平均三錢づゝ		セズ		
芝敬愛	敬愛小學校內	金子一郎	戶田莊次郎	二〇	二五	赤		一回	ナシ	ナシ	セリ		
南教會	大阪南教會內	青山ハンナ	加古一義	三五	五〇	白		四、或五回	ナシ	ナシ	セズ	四十三年五月	

備考　○右に記載の外二百以上を有する軍の報告を得ざる分の多かりしは非常に遺憾に堪へざる次第なり、來年度に於ては是非とも報告に接したきものなり、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○萬國本部特派員ミス、トスラウトの報告

ストラウト

光榮ある大會の席上に、過去一年の報告をなすに當り、先神に讚美の歌を捧ぐる事の最も適當なるべきを認むるもの也、一ッには我等の事業に向ひ、各地をして、其門戸を開かしめ玉へりし最も奇しき御力の爲に、二ッには、不肖が此召に應ぜむ樣に授け玉ひし健康と氣力との爲に、三ッには日本の有力なる人士を覺醒し我等の趣意を認め、事業の維持擴張を謀らしめ玉ひし事の爲になり。もし、それ機に臨みて、熱誠なる助力を與へ、常に同情と勇氣とを與へられし會員諸氏、殊に、恒に、忍耐を以て不肖に臨み、働きを頒つを否びられざりし矢島會頭に對しては、眞に只滿腔の感謝を呈する者也。

四十二年度働らきの要項を擧ぐれば、大阪、金澤地方、甲府地方、宮崎鹿兒島地方の三旅行、演說の數百二十二、平均一週三回、聽衆約四萬、受領せし誓約書二百、此外記錄に上らざる會の誓約者もあらむも其數詳かならず、總て誓約書は其尊嚴を失はざらむため容易にこれを分布せざりき、尙本年作出せし書物の數三十種以上、賣上高七圓、七十八錢、分布せし摺り物一萬部にして、此他日曜學校學課表に禁酒の課を挿入し、地方集會のため二葉の執行順序を草し、總て事業に必要なる通信書類の外議事法訓練手引を草したり、事務の訪問は數百回に及び出席したる委員會を十六回とす、特別なる集會としては臨時總會とハーグレブ氏送別會とを擧げむか、此等の會合は何れも日本人諸氏の熱心なる精神と其働らきとによりて大なる成功を見るを得たり、また市內にある外字新聞の記者は悉く訪問し禁酒の頁を其發刊する新聞に掲載せり、神戶ヘラルド、橫濱ガゼットにも然す。

昨秋第一に企てたる旅行を大阪、金澤の旅行とす、金澤に於ては、水足夫人專ら準備の勞を取られ、會員を增加せり、諸種の學校に講演をなし、大に矯風の精神を鼓舞せり、大阪に於ては主に林氏の周旋により、知事、視學、市長の協贊を得て、連日集會をなし、殆ど總ての學校に、師團千名の兵士に、六百の父兄と市の內外より來れる千三百の小學校敎師に講演をなせり而かして、此等の會衆より受けたる厚遇に就ては多く

を云ふを要せざるなり、大阪より境に至り、高等女學校に於て學生並に多數の男女の會集を得、神戸に於ても數度の集會をなせり。

今春四月甲府を訪ひ矯風會長キレン氏の盡力の下に、諸中等學校に講演をなし、矯風會年會に於ては一人の新しき會員を得たる、不肖を迎ふるに最も親切を極め、集會の報告は働らきの空しからざりしを示せり。

最後は九州旅行にして、五月四日出立、一ケ月の間に於て馬車に搖らるゝ事前後二百三十五哩、至る所、町長、村長、郡視學、學校長、其他有志の歡迎を受け或時は、旅宿料、馬車賃をも、拂はれし町々もありたり、集會の種類は極めて雜多にして、中學、師範、農學校、職業學校等の中等學校は勿論、すべての小學校の講演をなし、聯隊長の求めにより、最も熱心に吾等の傾聽せし一千の兵士に、學校の集會の外特に集まりし、二千の小學兒童に、縣教育會總會に、或は延岡城主内藤子爵夫人の發起に關はる町民の大會に、其他會堂等に開かるゝ公會にすべて講演の數を擧ぐる遑なき也、此等集會は地方牧師、信者、有志の盡力に出づる者なるが、其成功は主に宮崎のクラーク氏高橋氏の功によるもの也、或時の如き五時間の馬車旅行の後三回の集會をなせし事もありて、概して此地方の人を待つに熱心なる、之を遇する事の親切なる到底筆紙の盡す所にあらず、多くの矯風設立を約せらるゝあり、數日前高橋氏は書を送りて、近來到る所、先般巡遊の餘音消えず、人々矯風事業なる者を了解し之を喜ぶものゝ如く、其結果四ケ所に婦人矯風會設立を見るに至り一の禁酒會を組織するに至りしを、告げらる、宮崎には既に少年、青年の會は之有る事なれば婦人矯風會の設立は遠からざる可し、此れ等地方にては未だ一人の基督信者も無、斯かる事も全然、町村の事務に屬するが如き所あるも、彼らが斯く我黨の趣意を傳ふるに於ては、他に基督教婦人矯風會の設立を見む事得て期す可きのみ。

鹿島に於ては、矯風會長兒島女史、專ら集會の準備

を盡され、又勞を多數講演の通譯にかさる學校は一ヶをのぞく外悉く講演をなし、衛戍院の醫員、看護婦に、郵便局員に、一般市民にも講話をなし、中學校寄宿舍に於て淸潔課の事を語る、牧師舍監は自ら白十字誓約を配布し會繼續を約せらる、鹿兒島の會員は二倍せられ、縣知事夫人も誓約加入せらる、大阪に於ても此地に於ても美はしき贈物數知れず頂き、滯在の愉快にして諸氏の驩迎を樂めりし事誠に言語のよく語る所にあらざる也、困難を忍むで終りまで働らきに立ちし通譯の勞を多とし、美しき山と、美しき河とが此等地方に其姿を替へざるうち、これ等蒔かれたる種のいや成長せむ事を願ふもの也。

此等旅行の外東京に於ては、高等商業學校に、文部大臣の招きによりて女子高等師範に早稻田大學英語會に、外國婦人大會に、宣敎五十年紀念會に、敎文館々員に、講演の場所を擧ぐれば數ふるにいとまなし。

要するに、最も大なる喜悅を吾等に與ふる物は、敎職、官途にありて庶人を敎導するの地位にある人々が吾等の趣意に賛じ、自ら、惡習慣を打破して、好模範を示されたる事にして、働らきの虛しからざりしを感謝すると同時に、今後我黨の責任の重大なるを感ぜしむる者なり。

尙過般麻布に母の會を組織せしが、今後も居宅の近隣を訪ひて此種の會を設けむ事を期せり、蓋し母の會なる者は我等の最も必要と認むるものなれは也。

今日此短時間にて、つとめたりし働らきの一斑を述べて玆に此報告を終らむとするに當り、會員諸氏に懇請する所は、諸氏が不肖を用ひて何らかの役に立たせたまはむ事也、そは、不肖此に萬國婦風會の派遣によりて日本に在ると雖も、また同時に日本婦風會を代表する者なれば也即ち日本婦風會は萬國婦風會の一部なればなり。

されば、會員諸氏よ、時あつて不肖を訪ひ、不肖のためにいのり、また書をも寄せたまへ、然して何にても諸氏が命じたまふ所は力を盡してなし來らせむ、斯くして我等が切愛する事業が不肖が敬慕する日本の人々の間に廣く行はるゝに至らむ事を切望して止まざる者なり。

○萬國本部特派員ミス デヴヰスの報告

デビス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

玆に大會に出席、微力がなせし動らきの概要を報告するの榮を得たるを喜ぶ者なり、然るに、平素は自ら非常に多忙なる者の如く思惟するに拘はらず、今顧みて過去一年の事に見るも、一として、報告に價す可き事頁を見ず、報告をなす誠に困難にして、此長日月の間、何をなして過しゝかを怪むものなり、蓋し、少しく成就したる事ありとするも、これらは決して、自らの力に出てし事なく、悉く親情ある諸兄姉の助力に出てし者なれば也、たゞ、いさゝか、守屋小年課長と共に、誇りとする所の物は、小年禁酒軍々隊と、其兵卒の增加、及び諸種の會に於て成されたる種々の善良なる働らきにして、これらに就ては守屋課長報告の勞を取らる可ければ、此所に其詳細は述べざるべし。

本年度に於て守屋氏と共になせし旅行二ツ、一は、昨秋、仙臺、森岡地方になせし物、他は今春、茨木縣石岡、水戸地方を訪ひしもの、共に、或は、諸官公立學校、私立、宗教、諸學校に、婦人會に日曜學校に、それ〲講話をなして、禁酒軍を設立し、或は日曜學校教師會を開き、禁酒事業の必要の事なるを彼等に印象せむ事をつとめ此趣意を教授の中にも加へむ事を奬勵せり、仙臺に於ては四十人の車夫、大工の會合せる會も開きて、此中少なくも一人は禁酒の誓約を記名せり、水戸に於ても同樣の集會を催し、根本代議士の親切なる斡旋により、諸中等學校も悉く、禁酒演說のために門戸を開くに至り、試みに一週間の働らきにより幾人に我等の趣意を傳ふるを得むかを見む爲めに、假りに聽衆を數へたりしに、其數、實に、六千六百四十二人に達せり。

不肖が本年度に於て最もつとめたりし事は出來得る限り、諸所の日曜學校に出席して、禁酒の事を語るにありき、こは、たゞに市内日本人日曜學校のみならず、二度、外國人日曜學校にも出てゝ語れり、毎週最終土曜日を以て少年禁酒軍教師會を開き、守屋課長指導の下に、教師等の熱心を促し、事業に對する智識を增進し、教授に於ては、其教材を豐富ならしめむ事を謀れり、尚少年新報購讀者及び其部數を數へしに、過去一

年に二千部の增加を見、今日に於ては實に八千部の購讀あり、四十二年度に於ける出版物は、主に保田夫人の堪能なる筆にするものにして或物は、文學課長の筆に成るものもあり、婦人新報が矯風會の機關雜誌なるが如く、少年新報も、青年部の機關雜誌とならむ事は我等が切望する所也、一の喜ぶ可き事は少年新報に掲ぐる問答に對し、兒童より時々答へを送らるゝ事にして、是れ、少年諸子がこれを讀むに無意識ならざりしを證する者なるが故に不肖が最も愉快に感ずる所にして、毎月發送さるゝに千部の少年新報が、地方兒童の間に矯風の精神を創り出す事に於て大なる手引をなしつゝあるは、我等の確信する所也。外國婦人矯風會雜誌委員として、貢を外字新聞に送り、以て外國人の間に此趣意の傳般せむ事をつとめたり。

來年度に於て最も力を盡さむと欲する事は、第一、個々の、禁酒軍をして、各々、日本禁酒軍なる、大なる一團の部分にして、日本禁酒軍は更に、大なる萬國少年禁酒軍の一部なる事を悟らしめむため、是等個々の團體をば、密接に聯結する事にして、吾等、過去に得し所を失ふ事なく、他の禁酒軍を設立すると同時に其等古きものを共に支持するに力むる事、第二、出來得る限り、日曜學校に出席講演し、教師、生徒をして禁酒の訓練が最も必要なるを認めしめ、教師の間に於ても此事をさまで必要の事ともなさず、日曜學校課表に禁酒の課を置く事をさへ、廢せむとするが如き事をなからしむる樣、第三は、及ぶ限り、禁酒教育を普般せしむる事にして、此は、小學、中學、師範學校等の官公立學校に、機會あれば、出てゝ講話をなすにあり過去に於て、これら科學的禁酒講演が如何に校長、職員より歡迎せられたるかを思ひて試に悅に堪へざるものなり、第四、少年部の事業の比較的成功なりしに拘はらず、青年部の働らきは、寧ろ忽せにせしとがめあるに鑑み、本年度は特に此方面に注意せむ事にして其第一は青年をして、個々、青年部の會員は婦人矯風會の會員の前身にして、學校を卒業し、或は一個の婦人と成りたる場合に於ては、必ず矯風會々員となるべ

きものなる事を自覺せしむる事、第五、一の確たる目的を以て、すべての働らきをなす事、何となれば、何事によらず、一の目的に對して、充分なる計畫を建てゝなす時は其成功の大なるものあればなり。

前述の如く、働きの誠に小にして、報告としてこゝに上ぐるに足らず來年度と雖も必ずやこれに類する報告をなさゞるを得ざるべきを豫想せり、されど、會員諸氏が吝らざる親切なる助力を致さるべきを信じて、不肖も亦、諸氏の命のまに／＼、何事にても、微力の至らむ限りを盡し申さむ事を期す、思ふに慈愛に富み給ふ上帝天父の下、無益の勞力と無益の涙とは有る事なり、願はくは、我等互ひに、力め勵みて、以て、我等の事業が日本幾萬の青年にとりて、最も必要なる事たるを知り、來年度の働きをして、最も光榮あるものたらしめ成事を、我等は來る可き時代に於て、矯風會を指導すべき者を養育しつゝある者なり、其時來らば、此等、可愛き、若き者たちが、起ちて此光榮ある趣意を保持し、事業の各方面に於て、各く、缺なき働らきを爲すに堪ふる樣、彼等を教導せむ事を期するもの也。

接待費決算報告

山東泰子
富永のぶ子

明治四十三年矯風會大會
賄方七月十二日ゟ仝十五日迄

歡迎會菓子二種	一、八〇〇
讀物類	九二〇
箸	一八〇
蒲鉾	八〇〇
蕎麥	五、〇〇〇
豆腐	四〇〇
米	一五、〇〇〇
八百屋	一二、〇六六
卵鰹節類	六、五五〇
牛乳	一三五
砂糖	二、三三五
味噌醬油類	三、〇一五
パン	二、二九五
バタカレー粉類	三、二七五
鳥肉	三、〇〇〇
牛肉類	二八、一一〇
レモン水材料	一、九〇〇
肴屋	九、七九〇
スープ	一四〇
親子丼及そば	三、六五〇
餅菓子	五〇〇
懇談會の菓子袋	四、二六五
薪炭	六、二〇〇
石油	三六〇
	一一一、六八五

上草履雜類	三、一三五
早稻田行車及車夫へ禮	一一、五〇〇
手拭半反	二七〇
電車代	四、一〇〇
カンレーシャ旗代	一五〇
切符入れ封筒及紙類	二一〇
辨當運び車代	八〇〇
借用品運搬車往復	九〇〇
洗濯代	一、五〇〇
電燈料	三、〇〇〇
氷代	二〇〇
ホヤ	〇九五
蒲團損料	一、四八五
講談師へ禮	一〇、〇〇〇
コック二人へ禮	一〇、〇〇〇
下婢たつへ	四、〇〇〇
仝たけへ	三、〇〇〇
小附金へ	一、五〇〇
門番へ	一、〇〇〇
肴屋手傳女中へ	五〇〇
舍監へ反物謝儀	三、〇〇〇
	六〇、三四五
	一一一、六八五
	一七二、〇三〇

接待費收入之部

芝支部根本姉ヨリ	四二、〇〇〇
ミス、デビスヨリ	四三、〇〇〇
麻布支部小林姉ヨリ	五、七〇〇
麴町支部中澤姉ヨリ	七〇、〇〇〇
本所支部横倉姉ヨリ	五、五〇〇
小石川青年部	一〇、〇〇〇
赤坂支部	二〇、〇〇〇
東洋英和女學校	六、〇〇〇
番町大關姉ヨリ	七、五〇〇
辨當代及寄附	三、五〇〇
宿泊料	一、八〇〇
入	二一五、〇〇〇
出	一七二、〇三
殘	四二、九七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

芝支部

明治四十三年七月接待並大會費

一金貳圓拾錢　加藤きく子
一金參圓拾錢　根本德子
一金參圓拾錢　南波常子
一金貳圓拾錢　川崎花子
一金壹圓拾錢　中村みほ子
一金壹圓拾錢　鵜飼妙子
一金壹圓拾錢　吉成操子
一金壹圓拾錢　ルイス氏
一金壹圓拾錢　小西梅子
一金壹圓拾錢　竹內美貝子
一金壹圓拾錢　淺井ふさ子
一金壹圓　エリス
一金壹圓　石川せつ子
一金八拾錢　熊井桐月
一金五拾錢　岡野豐子
一金五拾錢　奥平とし子
一金四拾錢　堀江たつ子
一金拾參錢　小林しん子
一金拾錢　今井りう子
一金貳圓　大倉美知

金四拾貳圓　接待費
金四圓　睦會費
合計四拾六圓

麴町支部

一金五圓　矢島桃子
一金壹圓　井手睦世子
一金壹圓拾錢　平野はる子
一金壹圓　別金貳拾錢也　島山たつ子
一金貳圓貳拾錢　山室ゆふ子
一金壹圓拾錢　宮永延子
一金壹圓　森岡たみ子
一金壹圓拾錢　加藤りせ子
一金五拾錢　田中米子
一金壹圓　井上友子
一金參圓拾錢　井深花子
一金參圓拾錢　矢島民子
一金貳圓拾錢　石川コト子
一金壹圓三拾七錢　和田てる子
一金壹圓拾錢　田尻久米子
一金壹圓拾錢　林政子
一金壹圓拾錢　堀川宮子
一金壹圓拾錢　ホール氏
一金壹圓拾錢　荒木常子
一金壹圓拾錢　佐伯貞子
一金壹圓拾錢　瀨野尾しけ子
一金壹圓　須永すゝ子
一金壹圓　岡川仰子
一金六拾錢　金子貞子
一金六拾錢　田中しけ子
一金五拾錢　渡邊綾子
一金貳拾錢　服部時子
一金拾錢　大庭花子
一金拾錢　川上かれ子
一金壹圓　三谷民子
一金貳圓　島川信子
一金壹圓　別金拾錢也　加藤ミキ子
一金壹圓　木村ふせ子
一金壹圓拾錢　栗原榮子
一金壹圓拾錢　內田よし子
一金壹圓五十錢　中川せん子
一金壹圓　網島房子
一金五拾錢　久島富子
一金貳圓　岸田つる子

一金壹圓拾錢　桑田とみ子
一金五拾錢　河原ます子
一金壹圓　水野爪樹
一金壹圓　三井清子
一金壹圓　福田とし子
一金壹圓　弓削ますみ
一金壹圓拾錢　矢守つる子
一金六拾錢　河原ゆき子
一金壹圓拾錢　小田川ゆう子
一金壹圓拾錢　永田りう子
一金五拾錢　吉田みよ子
一金拾五錢　目賀田ふみ子
一金五拾錢　船曳みき子
一金參拾錢　高水こう子
一金壹圓　大石拾子
一金五拾錢　元田悌子
一金壹圓　高橋貝子
一金壹圓　畑たり子
一金壹圓　間原榮子
一金壹圓拾錢　石岡みき子
一金五拾錢　牧野清子
一金五拾錢　重見米子
一金壹圓　平岡龍
通計金六拾九圓六拾三錢
一金六拾錢　風間永
一金貳拾八錢　今井かず子

一金壹圓　中村くに子
一金壹圓　古家かつ子
一金壹圓　益富淺紀子
一金壹圓　阿波百子
一金壹圓　小澤よし子
一金貳圓　竹越竹代子
一金壹圓拾錢　安福ちゑ子
一金壹圓拾錢　太田敏子
一金壹圓拾錢　須藤やゑ子
一金壹圓拾錢　內海きん子
一金五拾錢　生島きん子
一金三拾錢　靑野たか子
一金五拾錢　田中れつ子
一金壹圓拾錢　中澤とう子
一金壹圓　津田みや子
一金五拾錢　土田とめ子
一金七拾八錢　奥山うし子
一金壹圓　小倉文枝子
一金貳圓　岡林たれ子
一金壹圓　中川まさこ子
一金壹圓　伊藤英子
一金五拾錢　和久山こま子
一金壹圓拾錢　吉岡ひさ子

通計金七拾壹圓六拾壹錢

內
金七拾圓也　接待費
金壹圓六拾壹錢　雜費

東京聯合

一金五拾錢　寺村千代子
一金卅錢　海老名みな子
一金三拾錢　光村ひさ子
一金三拾錢　阿部しげ子
一金廿五錢　加藤れい子
一金五拾錢　立田つう子
一金卅錢　お川ます子
一金三拾錢　內の崎きよ子
一金三拾錢　本多こう子
一金拾五錢　小林いつ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一金拾錢　今諏訪せい子
一金壹圓　小林とよ子
合計金五圓拾錢也
一金壹圓　麻布支部

○矢島會頭喜壽祝賀寄附金

井深花子

一金拾圓也　大阪婦人矯風會
一金壹圓　岡山婦人矯風會
一金壹圓　宇都宮婦人矯風會
一金壹圓五十錢　スペンセル氏
一金參圓　旭川婦人矯風會
一金貳圓　盛岡佐藤たつ子
一金壹圓　前橋婦人矯風會
一金壹圓五十錢　ストラクト氏
一金壹圓五拾錢　アビス氏
一金壹圓　若松組合教會婦人矯風會
一金貳圓　安中婦人矯風會
一金貳圓　原市婦人矯風會
一金壹圓　横井秀子
一金貳圓　山梨青年婦人矯風會
一金壹圓　山梨婦人矯風會
一金貳圓　堺婦人矯風會
一金壹圓　横濱婦人矯風會
一金壹圓　筑前若松婦人矯風會
一金貳圓　金澤婦人矯風會
一金參圓　長崎婦人矯風會
一金貳圓　呉婦人矯風會
一金五拾錢　根本とく子
一金五拾錢　守屋東子
一金壹圓　小林久代
一金五拾錢　荒木つれ子
一金壹圓　鵜飼たへ子
一金壹圓拾錢　河邊やす子
一金壹圓　本多貞子
一金壹圓　山崎千代子
一金壹圓　井深花子
一金參圓　大關ちか子
一金壹圓五十錢　佐賀婦人矯風會
一金參圓貳拾錢　京都婦人矯風會
一金拾・貳圓　神戸婦人矯風會
一金貳拾九圓七拾錢　牛込教會麹町支部（有志者）

一金五拾錢　竹内みよ子
一金貳拾錢　渡邊二子
一金壹圓八拾錢　熊木婦人矯風會
一金五圓　赤坂支部
一金參圓貳拾錢　靜岡婦人矯風會
一金參圓　相州婦人矯風會
右中澤夫人取次

合計百拾八圓貳拾錢也
内郵税七拾錢
殘金百拾七圓五拾錢
右會頭へ進呈致候也

祝賀の心を　盛岡　佐藤たつ子

君の爲美國のためにつくされし
師の齢こそ貴かりけれ
七十路に七とせ越えて移るらん
世に分つともつきぬ恵は

○麹町支部

一金壹圓也　鮫島夫人
一金壹圓也　岡林夫人
一金壹圓也　矢島夫人
一金貳圓也　井上とも子
一金壹圓也　内田夫人
一金壹圓也　平野夫人
一金五十錢也　古門氏
富永預り
一金壹圓也　中澤とら子

一金五圓也　山本たま子
一金壹圓九十錢　寺尾夫人
一金壹圓也　畑夫人
一金壹圓也　岸田つる子
一金壹圓也　富永夫人
一金五十錢也　中川夫人
一金壹圓也　須藤八重子
一金壹圓也　内海きん子
一金壹圓也　小倉ふみ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一金貳圓也　島田のふ子　　一金五拾錢也　小田川ゆう子
一金五十錢也　島山きみ子　　一金壹圓也　永田りう子
一金五十錢也　加藤りせ子　　一金壹圓也　長井きみ子
一金貳圓也　鈴木すま子　　一金壹圓也　栗屋榮子

合計二十九圓七十錢　井深氏に送る
三十錢郵税として宮永氏に渡す

内外通信

○大坂

●婦人矯風會の地久節祝賀

地久節に生れた婦人ホーム
陛下の御聖德を稱へまつる

大阪婦人矯風會は國母陛下の御還曆を奉祝する爲め二十八日午後二時より中之島公會堂に祝賀式を擧げ引續いて婦人ホーム滿三年の記念會を開いた來會者は皆婦人で凡五百名、基督敎信者だけに夜の恵みの雨が降るなど云つて殊に喜んでゐる聖書朗讀祈禱杯いふ風に順序はすべて基督敎式である早川牧師の祈禱に曰く天の御惠みによつて博愛仁慈なる我　國母陛下を降したまへることを深く感謝し奉る……アーメン、長田牧師の祝詞も矢張り天の神樣の說法から始つて皇后陛下の御仁德の高きとに及ぶウヰルミナ女學校の生徒が聲を揃へて唱歌「國の祝」を合唱して式は了ひ夫より記念會に移る婦人ホームが明治四十年の地久節に開始されて以來所々方々から使つて來た婦人は千百三十三人ある此内七十二人は逃亡して來た者であつた、此等の多くは梅田停車場や川口埠頭から親切な車夫又は水上警察から引渡されたものであるが開始以來手に懸て適當な家庭奉公、會社、銀行、病院等へ紹介したるものは六百八十人で現在市内に奉公中の者は百十一人ある此等の憐れな婦人の爲に支出した費用及び家屋購入費を合せ八千七百餘圓に及んで尠からぬ借財があつたが有志の同情に依て昨夜て悉皆此債務を果して了ふとが出來たと同時に芽出度地久節に當つて之を皆樣に報告するのは更に嬉しいと會長の林歌子女史は嬉し涙に咽ぶ高崎知事、後藤市長代理、小山健三君の諸氏は祝文を寄せアール女史は在阪外人を代表して祝辭を述べ慈善事業といふ事に熱中せる山田俊卿氏は八十餘歲の老體を提げて壇上に起ち加藤清正の話から婦人矯風會の事業に說き及ぼし面白い演說をやつたラニン嬢やコルレル夫人の獨吟などもあつた式が閉ぢられるや緒方惟準氏未亡人、緒方正淸氏夫人、緒方銈次郎氏夫人、藤木淸兵衛氏夫人など幹事連は茶を運び菓子を運んで連りに働いてゐた

六月一日（水曜日）　午後二時より婦人ホームに於て臨時集會を催し、石神八重子、川口たけ子、大塚常子、緒方千重子、藤本榮子、今井信子、淺井泰子、原深ふく子、井狄子、姉の重なる會員及役員相集りて大なる神の恵をたゝへ尚ホームを財團法人を組織するとに付きて協議を凝らしたり待焦れし書記淸水婦療養地城崎溫泉より數日前かへられしも尚今日病の爲に出席せられざりして遺憾に感じたり

市民會の大勝利　此回當市市會議員過半數改選につき市民會の大活動は遂に大勝利を占め我黨の方にも當選せられし事は賀すべきなり昨年大火の節種々の働きをなせし中の神の攝理は深く働きて妙なる御惠を示し給ふを感謝しぬ

入會者

北岡德　黑田イクヱ　長谷川タネ　黑田タツヱ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

北　川植野タネ　友田きく　松井なつ
松井誠一郎　小林忠平　瀧村雪子　神澤とり子
伊藤久子　駒熙薬屋植木利久　山脇うめ
井上まつ子　相川愛

〇堺

五月十七日附を以て堺市役所より左の諸項につき報告方照會せらる

一創立年月日
一事務所々在
一會員數
一四十二年度に於ける事務及會計報告及現在役員氏名並に現在規則等なり

五月二十一日附を以て右の僅なる報告書を提出せり

五月二十三日本會代表者二名(黒田夫人尾形夫人)當地他の諸團體と當市役所に共に召集せられ、戊申詔勅御趣旨を奉戴して事業經營せしや其成績等につき諮問せられ尚諸團體互に親交を計るは互の利益なれば各自互に其働の模樣を通し合ふと又諸團體聯合して圖書館を設立せざるか等の提議ありしも決せずして退散せり

〇呉

三月二十三日午後一時半日本基督教會にて第一會母の會を開く宇津まさ子姉司會のもとに讃美歌聖書朗讀を以て始め司會者の祈禱あり此度は「クロカ」夫人兒童教育の有益なる話の後前會の記録朗讀人名點呼讃美歌をうたひ閉會の祈禱を以て終りぬ

來會姉妹二十一名

新人會者　五名

五月九日午後一時半より中通五丁目聖公會にて例會をひらく此日は十五
分

英國皇帝陛下の崩御に付追弔禱祈あり終て宇野みつ子姉司會のもとに讃美及聖書朗讀祈禱あり此回は本部より不計も少年部長守屋東女史來臭せられ御多忙にもかゝらず酒と其の子孫に及す害につき圖解及實驗にて講話あり一同大に益せられ閉會の祈禱をもて四時すぎ散會す盛會なりき

來會者三十餘名

〇相州

五月十九日午後二時婦人矯風會例會を逗子中川よし子姉方に於て開く當日會長清水夫人出席ありたれ共少しく健康常ならず副會長三山夫人の司會の下に讃美祈禱を以て開會夫より諸姉の熱心なる感話あり三山牧師も特に御出席せられ故のキラード嬢の青年時代及其事業の大なる事等に付き最も適切なる御講話あり一同大きに奮勵せり尚當日は聖經女學校よりミ、スレート來會せられ席上聖書中に有る天父の大能を三種の種にならひ熱心且つ明細に説明せられ吾等信仰の濃薄に拘らず各自に與へられたる境遇に於て與へられたる種子を發揮し聖國の爲めに盡さればならぬ事を一層深く感ずるを得たり

此日同氏方に於ては牡丹、つゝじの花満開にて廣大なる庭園内に美はしき神の御手に造られし花など眺めて主公の厚き茶菓の饗應を受けながら天國の所樂の如く一同神に謝し喜びにみちて散會せしは午後四時過ぎなりし、アーメン　●

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○筑前若松

四月卅日午後七時より三内町大塚様の宅に於て本會々計木本さだ子書記内藤やす子姉此度當地を去り他に轉ぜらるる事に相成り兩人は去る賣店の折り非常に盡されし方々なれば此度感謝會をかねて送別會をひらきぬ讃美祈禱の後茶菓を出し心おきなく面白く愉快に遊び十時頃散會す

五月卅日三内町日本キリスト教會に於て婦風會修養會をひらく聖公會巡廻傳道師米原氏門司集會歸途を御願申上此處に集會をひらく時間となり初めに二三人の祈禱ありてはじめぬ讃美祈禱聖書朗讀にて米原氏の熱心滿面にあふれ我等會員一同が世に立ち此主義のため神のお榮を現すにいかにすべきかとの主意にて種々樣々なる例を擧られ尚ほ又貴き御聖言を與へ終りに熱心なる祈禱をさゝげる出席會員一同大に靈のたまものをいたゞきぬ幸ひ同席に福岡聖公會婦人傳道師大村師並に大阪日本橋メソジスト教會員大野老婦人あらせられたれば兩人の祈りを以て喜びの内に閉會し其より歸らざる方もあり又殘りて共に打語われる方もあたり當夜は實に有益なる集會なりき

六月一六日濱之町美以教會に於て午后二時より役員會をひらく當日はげしき降雨にもかゝわらず三名の役員をのぞく外殘らず出席せらる祈を以て開會左の三ヶ條に付協議す

第一　此度東京にひらかれる大會に出席者を選ぶ事
第二　書記會計轉任せられしにより此代人を選ぶ事
第三　慈善賣店毎秋ひらくべきや否やに付

右協議の結果左之通り決定す

第一　東京大會には地方にあらせられる方々代人として出席を願ふ事
第二　會計は最早半ヶ年間なれば其間副會長近藤まつ子姉に願ふ事書記は未だ適當の方あり次第に定むる事
第三　毎月一回午前より午後迄終日各自に裁縫をなし毎年秋一回慈善賣店をひらく事而して此得たる金をつみたて婦風事業のため何か當若松のために盡さん事に決定し感謝の中に散會す

婦人新報代金領書（三、四、五、六月間のもの）

一金一圓四十錢（四十二、三年度）宮野前とら子（一月の付落し分）
一金九圓（四十二、並に三年半期分）滿良支部（七人分）
一金二圓四十五錢（四十三年半期分）十時菊子、四人二月付落）
一金一圓四十錢（四十二年度分）　大村千枝子
一金一圓（四十二年度分）　菅沼すみ子
一金四圓二十錢（四十三年上半期）　山崎菊子（外十一人分）
一金八圓二十五錢（四十三年三月迄）　神戸　支部
一金十圓五十錢料屋（四十二年度）　堺　支部
一金二圓四十錢（四十二年度）　松岡　哲子
一金十六圓十錢（四十二年十二月迄）　相良　支部
一金十四圓（四十三年一、二、三）　横濱　支部
一金一圓（四十二年度）　細川　早子
一金三圓（四十三年度迄）　三浦とめ子
一金廿三圓（四十三年度三月迄）　大坂　支部
一金三圓九十錢（四十三年六月迄）　堺　支部
一金二圓四十錢（四十三度）　守山　納子
一金貳圓八十錢（四十三年度）　元瀬　清子
一金十四圓四十錢　四十三年五月分）　大阪　支部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

故原忠美先生遺稿

基督の面影

（新刊）

神人合一を著して信仰界に大波動を與へたる原先生は不治の難患の内に神の恩寵に感謝しつゝ遂に羽化せられたり此書は其信仰の餘瀝にして實に病褥の中にありて血と涙を以て成れるもの

定價三十錢
郵稅四錢

内村鑑三先生著

訂正增補

基督信徒の慰

（十版）

定價 上製六十錢 並製三十錢 郵稅各六錢

本書は著者が苦しめる基督信徒を代表し身を不幸の極點に置き基督教の原理を以て自ら慰めん事を勉めたるもの凡そ悲哀に沈む人にして本書より受くる慰籍の尠からざるべきは疑を容れず。

迫川先生著

政ちやん

（新刊、美本）

一家庭の恨事を同情の筆以て小說的に肉を付けたるもの可憐な少女に顯れたる神の攝理をみたまへ。

定價二十錢
郵稅二錢

座古愛子女史著

伏屋の曙

（四版）

正編 定價四十錢 郵稅六錢

本書久敷品切れの處今第四版發賣

伏屋の曙

續編 定價五十錢 郵稅六錢

尾島直治先生著

讚美歌說明

定價十五錢
郵稅四錢

本書は讚美歌手引とも云ふべき書にして四百六十餘篇の作歌者の一生と其由來を略記し卷末に歌中難解の辭及固有名詞等に付て註解せり小形讚美歌と同型なれば携帶に便なり

發兌

東京京橋
尾張町二

警醒社書店

（振替東京九五参番）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行